

飼料用トウモロコシの優良品種 「34N84（パイオニア108）」の特性

畜産試験場 草地飼料担当

飼料用とうもろこしは、栄養収量が最も高い飼料作物であるが、多様な特性を持った数多くの品種が市販されており、しかも数年単位で品種更新が行われていることから、作付品種の選定を行う判断材料が求められている。

そこで、市販品種のうち有望度の高い品種について本県における諸特性を明らかにし、新たに「34N84」を奨励品種に選定したので紹介する。

【34N84の特性】

1. RM108の早生品種で、4月15日頃までに播種すると、ほぼ7月中に刈り取りが可能である。2期作栽培の前作に適する。
2. 着雌穂高が低く、耐倒伏性に優れる。
3. 早生品種の中では耐虫害性に優れる。
4. 乾物収量が多収で、乾物雌穂割合も高い。
5. ゴマ葉枯れ病にやや弱い。

	H16	H17
播種日	4月15日	4月18日
発芽日	4月22日	4月29日
刈取日	7月28日	8月3日
有効積算温度	1217.5	1297.3

系統・ 品種名	稈長 cm	着雌穂高 cm	倒伏 %	折損 %	ゴマ葉枯病 1(良)~9	虫害 %
34N84	236.4	117.7	0.1	0.0	2.3	1.3
ゆめちから	215.8	120.7	0.7	0.3	2.1	3.1

(H16~H18の平均値)

系統・ 品種名	生茎 葉重 kg/a	生雌 穂重 kg/a	生総重 kg/a	有効雌 穂割合 %	乾茎 葉重 kg/a	乾雌 穂重 kg/a	乾物 総重 kg/a	乾物雌穂 重割合 %
34N84	508.1	167.5	675.5	98.8	112.6	87.9	200.4	43.6
ゆめちから	531.6	140.1	671.7	98.8	105.6	74.9	180.5	41.4

(H16~H18の平均値)